

参加者感想

参加期間 2月 23日 ~ 3月 8日

参加されたプログラム名

セブ研修 (幼稚園ボランティア)

ボランティア活動

(ボランティア先の様子、活動内容、時間、回数などを含めて、貴方が感じたことをご自由にお書き下さい。)

私は、海外ボランティアに興味があり、海外の子ども達と触れ合いたいと思っていたため、今回セブ島のプログラムに参加させて頂こうと思いました。行く前は、フィリピンは少し怖いイメージがあったため少し不安がありましたが、人もやさしくてとても安心しました。今回のプログラムでは沢山の体験をさせていただきました。

基本的な1日の流れは、幼稚園へはいつもタタさんが送り迎えをしてくれ、朝07:30に、タタさんがホテルに来てくれて一緒に幼稚園に登園していました。幼稚園では、日本で用意していた手遊びや紙芝居などをさせていただきました。英語が通じないため先生に通訳をしていただきました。子どもたちは絵をじっと見ている、とても興味津々な眼差しで子どもは皆一緒だと、とても感動しました。子どもは皆かわいいです。アクティビティ以外は、先生のサポートをしていました。幼稚園は午前中で終わるため、お昼御飯は、Jセンターモールやロビンソンモールなどで食べたりタタさんやドウエインにレストランに連れて行ってもらったりしていました。15:00からの英語のレッスンに行き、レッスンが終わると夜ごはんを食べたり買ってかえったりしてタクシーでホテルまで帰るというようなのが基本的な1日の流れでした。

幼稚園の他に、タリサイという所に連れて行ってもらいました。そこでは、子ども達と手遊びや鬼ごっこ、だるまさんが転んだなどをして遊んだりしました。タリサイの子どもたちは英語が通じずとても戸惑いましたが、顔の表情、ジェスチャーなどをフルに使い、ゲームなど一緒に楽しむ事が出来ました。そして何より、子ども達がとても人懐っこくてとてもかわいくて、言葉の壁を感じさせませんでした。

他にも、マザーテレサ孤児院へ行かせていただきました。午前中のみだったのですが、子ども達とアルプス一万じゃくなど手遊びをして遊びました。2日間日本語教室にも参加させて頂きました。1日目、日本語教室は10:00から授業だったのですが、お葬式があったため現地の方々が集まらず、出来ませんでした。その為、英語のレッスンまで観光をし、英語のレッスンへ行きました。2日目もまた、10:00からの予定でしたがなかなか集まらず、11:00から授業が始まりました。人が集まってきてくれてよかったです。授業は2時間ぐらいでした。参加者の人達は大人の人ばかりで15人ぐらい参加していました。授業の終盤に前に立ち少し日本語を教えるという事を体験さ

せて頂きました。急だったので少し戸惑いました。その時感じたことは、日本語を始め言葉を教えることは、とても難しいことだけど、伝わるととてもとても嬉しい事なんだなととても感じました。是非また日本語教室に参加させて頂きたいなと強く思いました。

他に日曜日には日曜学校のサブナイにも行きました。私達が行った時は、ビデオ撮影をする日だったため、あまり授業風景などは分かりませんでした。展示物などを見ていつもはこんなことを学んでいるんだなととても感動しました。サブナイの授業後に家庭訪問にも行きました。家庭訪問先のお家はとても小さくてびっくりしました。家庭訪問に行った先のお母さんと対話し、自分のモットーなどを質問され答えられずとても戸惑いました。ちゃんと自分の意思を持ち生きているお母さんの姿を見て私は感動し、とても自分が恥かしくなりました。そして、自分の事をよく考えなければと反省しました。

セブ島で子ども達、いろんな人々との出会いで私は沢山学ぶ事ができ、とても考えさせられることがありました。今回本当にこのプログラムに参加させて頂いてとても良かったと思います。本当にありがとうございました。

貴方が参加された活動を通じ、一番印象に残ったこと、感想、感じたこと、考えたこと、おもしろかったこと、次に参加するひとなどへのアドバイスをご自由にお書きください。パソコンで入力していただいても、この書類をプリントアウトして直筆で記入いただいても大丈夫です。もちろん、どれだけ増えても良いです。よろしくお願いします。(その他のポイント:滞在した家、寮、ホテルの様子、持ち物で役に立ったもの、どれぐらいの量の服をもっていったらよかったか、現地の食事、お勧めのレストラン、現地での旅行、どれぐらいのお金を使ったか、物価、天候などもお知らせください)

私がセブ島で印象に残ったのは、子ども達の純粋なかわいい笑顔です。言葉が通じない分、顔の表情がとても大切だなと、とても感じました。日本に居る時、知らない人と話す時にそこまで顔の表情まであまり考えていませんでしたが、セブ島の子ども達の表情を見ていたり、会話をしていくうちに自然に顔の表情を意識していました。日本に帰って来てから、人との距離感が近くなったように感じ、顔の表情も意識するようになりました。

セブ島で、幼稚園に行かして頂いていて感じたことは、幼稚園に通っている子どもたちは制服もあり親に送り迎えをもらって、授業もあり勉強も出来る環境があり日本の幼稚園と似ているなと感じました。

しかし、ある日マーケットに行った帰りのタクシーで、タクシーの外から手をさしのばして来た子ども達は何人もいました。子どもだけでなくおばあさんもいました。私はその時その子たちの目を見る事ができませんでした。私が今お金を出すと喜んでくれるのだろうか、でも出したとしてもこの人達を助けることにはならないんじゃないかなど、色々考えさせられました。他にも、赤ちゃんを抱いたお母さんが助けてと言っているような顔で手を差し伸べられ

た時は、どうすればよいのか、どうすればよかったのか、本当に分からなくなりました。胸が痛くなり自分がどうしてセブ島に来たのか何を目的に来たのか少し分からなくなった時もありました。話で聞くだけではわからないし、自分が肌で感じないと感じる事が出来ない体験だと思いました。

また、タリサイやサブナイで出会った子どもたちはとても元気で明るくて私達が行った時もとても歓迎してくれた様に感じました。とても裕福というわけではないけれど、とても楽しそうで幸せそうでした。

幼稚園の子どもたちやストリートチルドレン、タリサイやサブナイの子どもたち孤児院の子ども達。それぞれ環境が違う所で生活をしているだけでこんなに違うのだと、今回セブでいろんなプログラムを体験させていただいて、本当にいろんな視点からセブを見る事が出来ました。

私が泊ったホテルは固定の水のシャワーでした。最初、お湯が出るシャワーだと嬉しかったと正直思いました。しかし、セブが暖かいというもあり水でも寒くないし、2、3日位していくうちにだんだん慣れていきました。洗濯は手洗いで、洗濯紐を持って行っていたので、2週間で5着か6着ほどの服を持って行っていましたが、毎日洗濯をしていました。あと、蚊取り線香を持っていったのですが私はあまり虫に刺されることはなく、刺されてもムヒなどをぬっていました。なので、蚊取り線香は使いませんでした。

現地の料理は、私はとっても合っていたなと思いました。ほとんど毎日お肉と白ご飯を食べていましたが、野菜を食べる機会があまりなく少し野菜が恋しくなりました。日本食が食べなくなった時にもスーパーうどんなどが売っていたので買って食べたりしていました。なので、私は日本食を全く持っていかなかったのですが持っていかななくても大丈夫だったなと思いました。ですが、友達でそくせきのお味噌汁持ってきている子がいてそれを食べた時は、とても安心した気持ちになり、お味噌汁を持ってきたらよかったなと思いました。

休日は、コーディネーターの人に教えてもらいスキューバーダイビングに行きました。ビーチへは送り迎えのタクシーで行きました。ビーチも日本人の方が一人いてとても安心してスキューバーを楽しめました。セブはたまに雨が降りましたがほとんど晴れていて、やっぱり海へ行くと とても焼けました。

現地では、2万5000円か3万円くらい使ったと思います。スキューバーダイビングや違う島に観光をしに行くとなるとやはり少し多めに持っていく方がいいと思いました。しかし、ビーチやマーケットではカードが使えるとても便利でした。タクシーや安めのレストランなどでは現金がいりますので現金では2万円位は使ったのかなと思います。

セブは物価も安くて人もいい人ばかりでもう一度行きたいととても思いました。とても楽しくて素晴らしい体験が出来ました。本当にありがとうございました。

